



現況検査により認められる状況の記録

令和5年3月2日	
NO	61
場所	B X 1 通り
部位	スラブ筋
スラブ (S 3) の定着用上端差し筋 (D13・D10@200mmチドリ) が計画 (施工図) 通りに設置されていることを確認。	
	



令和5年3月2日	
NO	62
場所	B Y 2 通り
部位	壁立上がり筋
壁立上がり筋 (W18A : D13@200ダブル) が計画 (施工図) 通りに設置されていることを確認。	
	




令和5年3月2日	
NO	63
場所	B Y 2 通り
部位	壁立上がり筋
同上。	
	



現況検査により認められる状況の記録

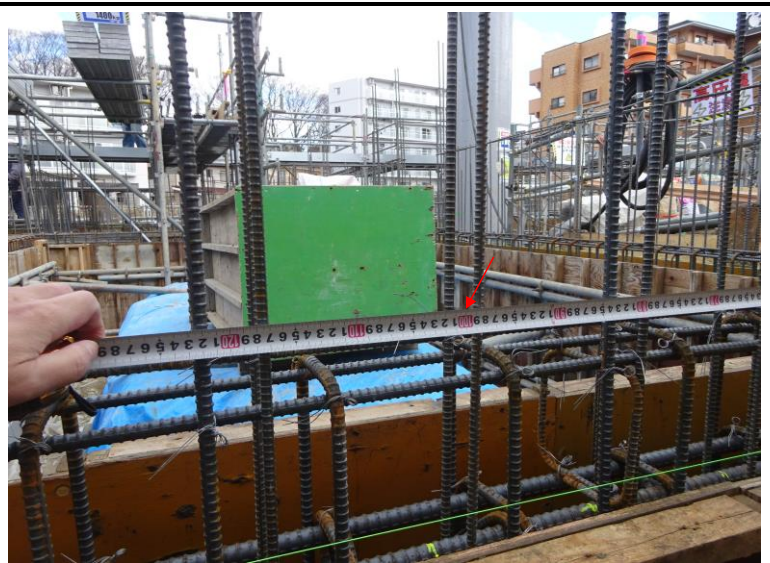
令和5年3月2日	
NO	64
場所	B X 2 通り
部位	基礎型枠

型枠の設置幅が計画（施工図）通りであることを確認。（基礎梁：300mm+増打ち：20mm×内外=340mm）




令和5年3月2日	
NO	65
場所	B Y 1 通り
部位	スラブ筋

スラブ（S3）の定着用先端差し筋の内、D10×3本が不足していることを指摘。

令和5年3月2日	
NO	66
場所	B Y 1 通り
部位	スラブ筋

上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。




現況検査により認められる状況の記録

令和5年3月2日	
NO	67
場所	B X 6 通り
部位	壁立上がり筋
W18Aの壁立上がり筋 (D13@200mmダブル) が計画 (施工図) 通りに設置されていることを確認。	



令和5年3月2日	
NO	68
場所	B X 6 通り
部位	壁立上がり筋
同上。	



令和5年3月2日	
NO	69
場所	B X 6 通り
部位	壁立上がり筋
基礎躯体への定着長さ : L2 (D13×35=455mm)、及びFL (+120mm) からの壁面への定着長さ : L1 (D13×40=520mm) ∴計1,095mm以上の長さが確保されていることを確認。	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年3月2日	
NO	70
場所	B X 6 通り
部位	スラブ筋
水廻り段差スラブ部分の定着用差し筋 (S3: 上端筋D13・D10@200mmチドリ) が計画 (施工図) 通りに設置されていることを確認。	
	



令和5年3月2日	
NO	71
場所	B X 6 通り
部位	スラブ筋
同上。水廻り段差スラブ部分の定着用差し筋 (S3: 下端筋D10@200mm) が計画 (施工図) 通りに設置されていることを確認。	
	

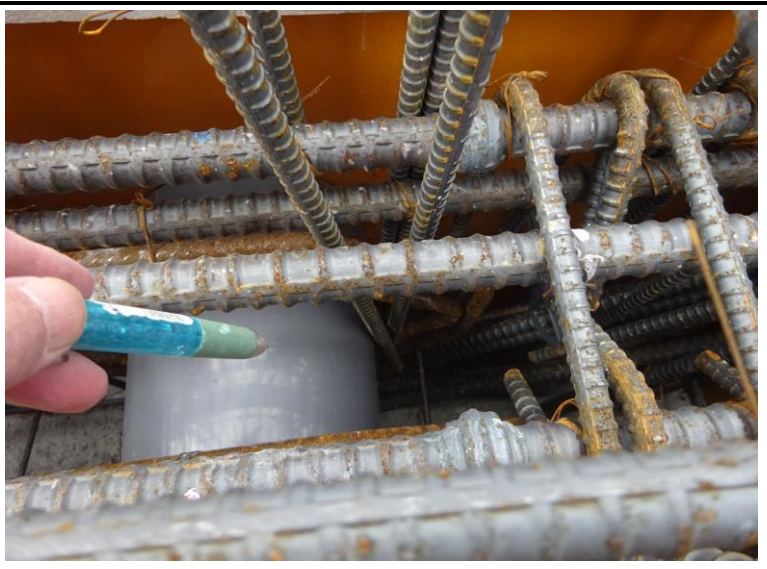


令和5年3月2日	
NO	72
場所	B X 6 通り
部位	スラブ筋
スラブ (S 3 : 一般外周部) の定着用上端差し筋 (D13・D10@200mmチドリ) が計画 (施工図) 通りに設置されていることを確認。	
	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年3月2日	
NO	73
場所	B X 5 通り
部位	スラブ筋
<p>スラブ (S 3) の定着用上端差し筋が配管スリーブと干渉し鉄筋かぶり厚さ (40 mm 以上) が適切に確保されない状態であることを指摘。</p>	
	



令和5年3月2日	
NO	74
場所	B X 5 通り
部位	スラブ筋
<p>上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。</p>	
	



令和5年3月2日	
NO	75
場所	B X 4 通り
部位	壁立上がり筋
<p>W18の壁立上がり筋 (D10@200mmダブル) が計画 (施工図) 通りに設置されていることを確認。</p>	
	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年3月2日	
NO	76
場所	B X 4 通り
部位	壁立上がり筋
基礎躯体への定着長さ：L2 (D10×35=350mm)、及びFL (+120mm) からの壁面への定着長さ：L1 (D10×40=400mm) ∴計870mm以上の長さが確保されていることを確認。	
	




令和5年3月2日	
NO	77
場所	B Y 7 通り
部位	スラブ筋
スラブ (S 3) の定着用先端差し筋の内、D13×1本が結束不良によって脱落していることを指摘。	
	



令和5年3月2日	
NO	78
場所	B Y 7 通り
部位	スラブ筋
上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。	
	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年3月2日	
NO	79
場所	CY6通り
部位	外壁面 (打ち放し仕上げ)
CD棟 (CY6通り) 北側外壁面 (打ち放し仕上げ) の脱型時の状況。ジャンカ (豆板) やコールドジョイントは見受けられず密実なコンクリート打設が行われているものと捉えられる。	
	



令和5年3月2日	
NO	80
場所	CX1通り
部位	埋め戻し部
基礎コンクリートの打ち上がり状況。計画通りにセパ穴処理が行われていることを確認。	
	



令和5年3月2日	
NO	81
場所	CD棟
部位	基礎
CD棟基礎部分のコンクリートの打ち上がり状況。	
	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年3月2日	
NO	82
場所	CD棟
部位	基礎
同上。	




令和5年3月2日	
NO	83
場所	C X 1 通り
部位	外部小階段
外部小階段部分には、計画通りに差し筋が設置されていることを確認。	




令和5年3月2日	
NO	84
場所	隣地境界部
部位	ヒューム管
敷地北東側隣地境界部（河川敷側）に埋設されていたヒューム管（貫通部）部分には、コンクリートが充填されたことを確認。	